

2018年06月12日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【本日の米朝首脳会談は、現時点で、まだ、合意内容が不明のまま】

本日(6月12日)のトピックは、米朝首脳会談が、開催されたこと。

この首脳会談に最大限の注目をしているのだが、まだ、肝心の合意内容が、発表されていない。

本日(6月12日)の夕方に、トランプ大統領の会見が予定されているので、その時に、合意内容が、発表されるのだろう。

本日(6月12日)の15時の時点で、両首脳は、合意文書に署名をしたことが発表されています。

ただし、この時点では、まだ、合意内容は発表されていません。

これから発表される合意の内容を、よくよく考察する必要がある、と考えています。

現時点のマーケットは、「米朝首脳会談の結果待ち」という状態と考えます。

合意の内容が、具体的な「核放棄」や「戦争終了」に踏み込んだものであれば、高い評価となろうが、トランプ大統領の漏らした言葉は、「包括的内容」ということなので、抽象的な合意に過ぎない可能性も残っている。

合意内容が、具体的ではない場合は、米朝の交渉は、今後も続くことになるだろう。

その米朝の交渉が、広く公開されるオープンなものになるとは限らない。

つまり、水面下での米朝の交渉の場合は、その成果が、評価に値するのか、あまり、価値の無い内容となるのか、外部からは、わからないことになる。

現時点では、トランプ大統領の会見で、どのような合意内容が発表されるのか、最大限に注目している。

まだ、どのように評価し、判断すればよいのか、不明のままだ。

+++++

(2018年6月12日東京時間15:15記述)